

## 海藻畑をつくる魚 The fish farming algal field



クロソラスズメダイは、なわばり性スズメダイの一つで、なわばりの中に自分が食べるイトグサという海藻を選別して育てる、いわゆる農業をする魚だ。なわばりに入ってきたほかの魚やウニなどを追い払い、海藻が食べられないようにするのはもちろんのこと、自分の育てている種類以外の海藻が生えてくると、それを取り除いて手入れをすることがわかっている。まさに、雑草取りをして自分の畑を作っているのだ。非常にユニークで興味深い習性だが、サンゴ群体がそのなわばりとなり、藻類畑が広がるにつれてサンゴが死亡していくという現象も見られる。特に近年、慶良間でこのスズメダイが増えて、サンゴにダメージを与えているという話をよく耳にするようになった。サンゴにとっては、良いことではない。なわばり性スズメダイの増加は本当だろうか。その理由は何だろうか。藻類の生育に適した富栄養化などの変化が海中で起きているかもしれないと思うのは考え過ぎだろうか。

撮影：岩尾研二  
撮影日：2006年9月15日  
場所：阿嘉港

---

### 編集後記

編集 岩尾研二（研究員）

“慶良間のサンゴ群集はいつ復活するのか”。これはオニヒトデ食害で慶良間のさんご礁が荒廃してから、ずっと気にかかっていたことでした。今号の立田・岩尾や岩尾の記事にあるように、2001年以降、慶良間のさんご礁が場所によっては壊滅的なダメージを受けたのは紛れもない事実で、その後の回復もなかなか進みませんでした。しかし、昨年（2015年）に40地点ほど見て回ったところ、いくつかの地点では驚くほど多数あるいは高密度のサンゴ群体が生息しているのを確認することができ、将来に明るい展望が持てるようになりました。このまま大きな攪乱がなければ、5年ほど後には多くの地点で豊かなサンゴ群集が回復しているのではないかと期待しています。しかしいっぽうで、ほとんど回復が見られない、むしろ状況が悪化している地点もいくつかあります。原因の究明を進めなければなりませんし、場合によっては大森や中村らの記事で示されたような人の手助けによる再生をおこなう必要があると思います。今が検討するべき時です。



発行人  
ESTABLISHMENT OF TROPICAL MARINE ECOLOGICAL RESEARCH

一般財団法人熱帯海洋生態研究振興財団

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ614号 TEL. 03-3490-7266 FAX. 03-3490-8278

AKAJIMA MARINE SCIENCE LABORATORY

阿嘉島臨海研究所

〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179 TEL. 098-987-2304 FAX. 098-987-2875

E-mail: [amsl@oki-zamami.jp](mailto:amsl@oki-zamami.jp) Homepage URL: <http://www.amsl.or.jp>